

韓国現代小説

との出会い

日本でも人気の2人の作家が、
韓国の現代小説の世界とその魅力について語ります。



申京淑

(シン・ギョンスク)

1985年、「冬の寓話」でデビュー。
1994年、「深い哀しみ」が60万部を記録し、一躍、人気作家となる。文壇の世代交代を促した代表的な作家とされる。「母をお願い」が現在、世界的ベストセラーになっている。



金重赫

(キム・ジュンヒョク)

ウェブデザイナー、雑誌記者などを経て、2000年に「ペンギンニュース」でデビュー。2008年、「拍子はずれのD」で金裕貞文学賞受賞。「楽器たちの図書館」によって日本に韓国文学の〈韓流〉ブームをもたらした。

2012年11月18日(日)

14:00～16:00(開場13:30)

新潟県立大学1313講義室

○作家による自作品の朗読&トーク

○公開座談会～

「韓国現代小説の魅力ー日本の読者に伝えたいこと」

(司会:本学教授 波田野節子)

入場無料

| 通訳付 | 定員120名 |

(予約は不要ですが、満員の際はご容赦ください)

IN
NIIGATA

主催：公立大学法人新潟県立大学 共催：駐新潟大韓民国総領事館 後援：韓国文学翻訳院

 新潟県立大学
University of NIIGATA PREFECTURE

○詳細はホームページをご覧ください。<http://www.unii.ac.jp/~hatano/>

| お問い合わせ | 新潟県立大学 山田研究室 yamada@unii.ac.jp